

これで完璧！！

# 科目別勉強法



※このコラムは学生の目線で作成したものです。  
明治大学公式の見解ではありません。

# 国語

明大生が受験時に  
使用した参考書

## ～現代文～

- ・ 数をこなして問題になれる！  
→ 初めは時間を図らずにじっくりと  
取り組むのがポイント
- ・ 単語問題や慣用句など簡単な問題を落とさない！  
→ 単語集などで日々意識的にインプットしよう



「読解を深める現代文単語」桐原書店編集部 編  
桐原書店 (2009年)

## ～古文～

- ・ 文法をマスターすれば怖いものなし！  
→ 助動詞や敬語など、受験生が苦手な分野は差をつけるチャンス。  
頻出問題はしっかりとカバーしよう
- ・ 有名な物語や説話集などは作者や時代まで暗記しよう！

明大生が受験時に  
使用した参考書

## ～漢文～

- ・ とにかく単語と句法をインプット！  
→ 「百姓」「人間」など現代文と意味が異なる単語  
などを中心に、引っかけられないように勉強しよう
- ・ インプットしたら実践あるのみ！  
→ 問題をたくさんこなして、漢文の読み方に慣れよう



「漢文ヤマのヤマ」三羽邦美 著  
学研プラス (2020年)

# 英語 English

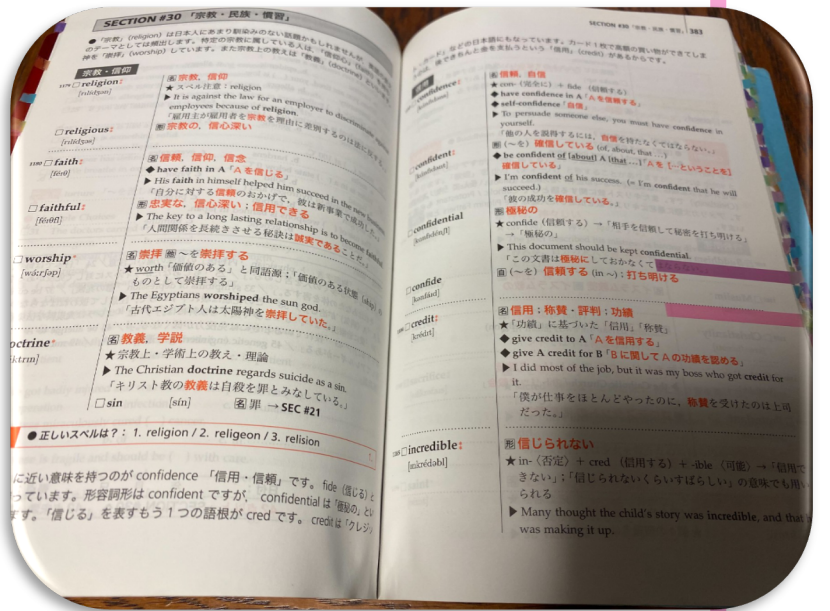
## ・ 単語の勉強法

その1 「長文でわからない単語が出た時、辞書を引く前に自分の単語帳を確認する。」

・・・後で単語帳を確認したとき、記憶が残っているのだからわかりやすい。

その2 「わからない単語に付箋をつける。」

・・・単語帳を2周繰り返してもわからなかった単語をに付箋をつけて復習の効率化を図る。



## ・ 文法の勉強法

その1 「参考書の問題文で覚える。」

・・・問題文の形で頭に定着させることができる。

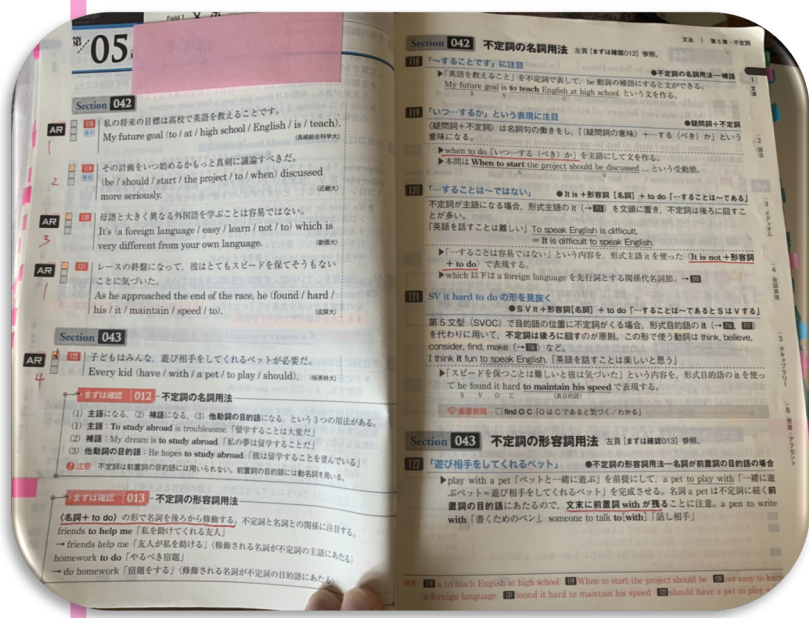
その2 「問題の解説を読み込む。」

・・・理解を深めることで長文読解に応用可能！

その3 「難なくできる問題、選択肢を絞り切れなかった問題、解けなかった問題をチェックをつけて区別する。」

・・・復習に割く時間を短縮できる！

※やみくもに問題を解くのはNG！



## ・ 長文の勉強法

その1 「段落ごとに日本語で要約を行う。」

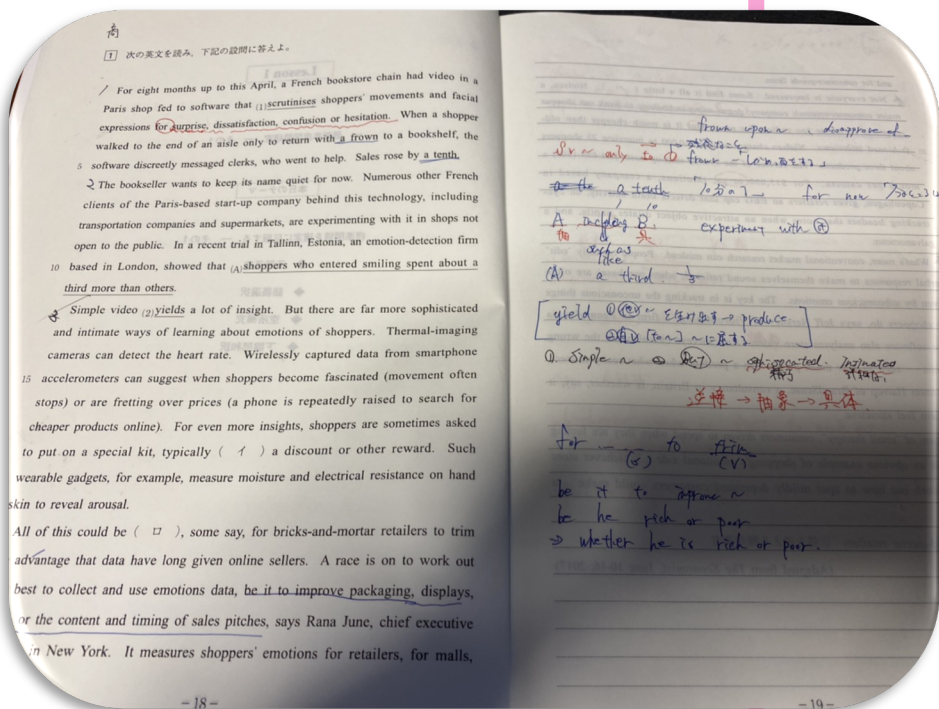
・・・段落の多い長文の際、後半に行くにつれて前半の内容を忘れないため。

その2 「品詞ごとにマークをして区別する。」

・・・文構造の把握を容易にする。

その3 「繰り返し音読をする。」

・・・音読をするスピードで文章を読むことができる。



# 日本史

## ・入試の特徴

☆史料問題が多いと言われている

教科書や史料集に載っているものには一通り目を通しておく。有名な資料は暗記する。穴埋め問題にも対応できるように。

☆近現代史が出やすいと言われている

現代社会につながるものなので中でも重要視されることが多い。

覚えることが多く、苦手としている人が多いので、差がつけやすい。

☆細かい知識が必要

私立大学の日本史は、非常に深い知識が求められるので、教科書の注釈のところまで読み込むと良い

## ・勉強法

時代の流れを把握した上で、細かい知識を覚えることが重要。歴史的出来事が起きた順番を聞かれることが多いので、年表を使った勉強が効果的。

年号や歴代内閣総理大臣、天皇等の覚えにくいものは、語呂合わせや歌を使って覚える。

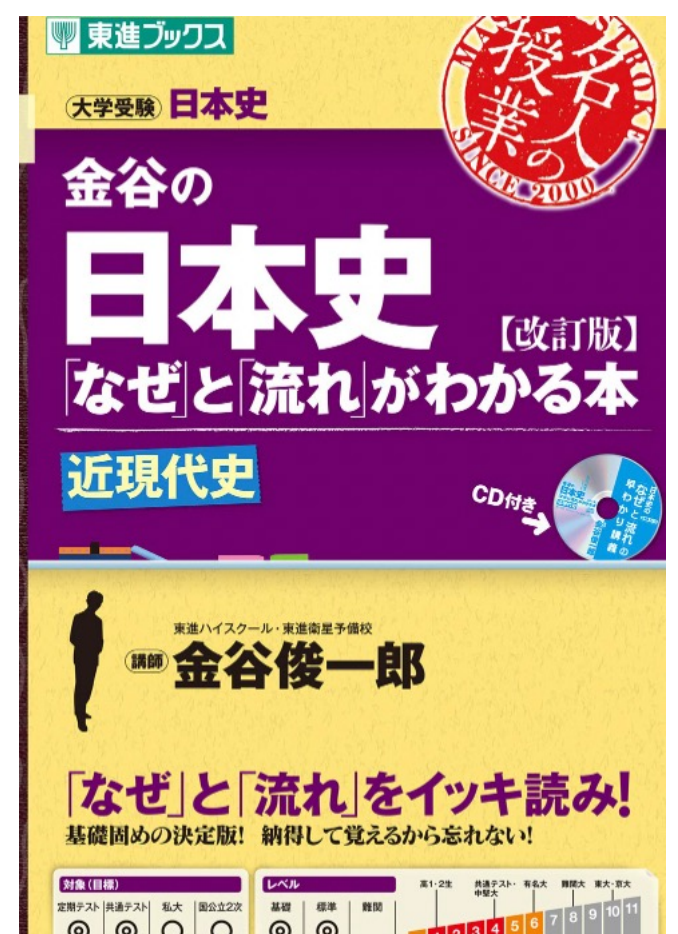
## ・明大生が受験時に使用した参考書



一問一答日本史Bターゲット4000  
石川晶康 著 旺文社 (2016年)



日本史B一問一答【完全版】  
金谷俊一郎 著 ナガセ(2013年)



金谷の日本史【改訂版】  
「なぜ」と「流れ」がわかる本 近現代史  
金谷俊一郎 著 ナガセ(2015年)

# 世界史

- 時代の流れを確認、反復練習することで着実な力をつける。
- 国ごとの横の動きが重要になるため、地図を見ながら同時期に何が起きているのか確認する。
- 年号の並べ替え問題や資料問題が頻出と言われているので、明確に暗記する。
- 過去問を解いた後は、解説をノートに書き写して、そのノートを模試の前に確認できるようにする。
- 模試で出てきた用語は、用語集や教科書にマークし、再び出てきた時に間違えないように注意する。
- 教科書・資料集・一問一答が重要。一冊を極めるべし。

## —明大生が受験時に使用した参考書—



世界史用語集 改訂版  
全国歴史教育研究協議会 編集  
山川出版社 (2018年)



実力をつける世界史100題[改訂第3版]  
Z会出版編集部 著  
Z会(2013年)



世界史B講義の実況中継(1)  
青木 裕司 著  
語学春秋社 (2015年)